

## 【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (11月12日～11月22日分)

### ソニックブルー、Rio600/800 用バックパックを値下げ

ソニックブルーは、2001年11月22日より Rio 600 および Rio 800 用 64MB バックパックを全国パソコンショップ、家電量販店、インターネット販売サイトおよび SONICblue eStore にて特別価格 9,000 円で販売を開始すると発表した。

64MB バックパックは Rio 600 および Rio 800 の背面に付け、メモリを 64MB 増設するアタッチメント。ニッケル水素充電池を内蔵し、AC アダプターも付属する。

ソニックブルーでは、同時に Rio 600 を購入したユーザーに搭載メモリが 2 倍になるようバックパックを無料で進呈する「音楽が 2 倍キャンペーン」をスタートしており、既存ユーザーや Rio 800 ユーザーに対してのキャンペーンと位置付けられている。

また、32MB バックパックも SONICblue eStore にて特別価格 2,980 円で販売が開始されている。

なお、SONICblue eStore では、Rio ファミリー製品の標準付属品 (RioVolt SP250 専用キャリングケース、RioVolt SP250 専用 LCD リモートコントローラー、Rio 600/800/Nike psalplay 用 USB ケーブルなど) も同時に販売開始する。

(11/22)

### NTT 西日本、「フレッツ・スポットアクセス」の実験スポットを追加

NTT 西日本は、2001 年 10 月 22 日から大阪の梅田、心斎橋、日本橋の複数のスポットで実施している、無線 LAN を利用し地域 IP 網経由でインターネット接続を行う「フレッツ・スポットアクセス」実証実験の実験スポットを追加、同時に実験モニターの追加募集を行うと発表した。

新たなスポットはこれまでの 3 エリア内で

の追加、難波エリアの南海サウスタワーホテル大阪、関西空港へと拡大され、全部で 19 箇所となった。2001 年 11 月 20 日から利用できるようになっている。

また、現在募集中の実験モニターは無線 LAN カードを自分で用意しなければならなかったが、2001 年 11 月 20 日から 29 日まで、NTT 西日本から貸与する無線 LAN カードを利用できるモニターも募集する。

モニターの条件は変わらず、大阪府内に在住または通勤・通学しており、NTT 西日本フレッツ回線を契約し、指定の ISP (@nifty、ASAHI ネット、BIGLOBE、DION、DreamNet、DS Networks、IJ4U、InfoSphere、JENS SpinNet、OCN、Panasonic hi-ho、SANNET、ぶらら) と契約していることが必要。

(11/21)

### クリエイティブ、Windows XP 対応状況を公表

クリエイティブメディアは、自社製品の Windows XP リテールパッケージ動作確認を行った対応状況を公表した。

Nomad シリーズについては、初代 Nomad が Windows XP への対応予定なし、Nomad および Nomad Jukebox は、いずれも対応予定で、Windows XP 用ドライバ/アプリケーションの配布予定を 12 月上旬としている。

注意事項として PlayCenter など、製品のインストール CD に同梱されているアプリケーションソフトウェアは、Windows XP 対応と明記されていない限り導入しないようと呼びかけている。

なお、クリエイティブメディア全体として、Windows XP のサポートはまだ行っておらず、対応製品の追加等の情報については、随時更新の予定としている。

(11/20)

### NTT-X、「goo プロードバンド」をオープン

NTT-X は、自社が運営するインターネッ

トポータルサイト「goo」内にブロードバンドアクセスライン・ユーザ向けのコンテンツサービスを大幅に拡充した「goo プロードバンド」を開発したと発表した。

「goo プロードバンド」は、当初、映画/音楽/アニメ/ゲーム/ニュース/カルチャーの合計 6 つのカテゴリを設置、各カテゴリ情報は WMT 形式、Real 形式による主に 300kbps のストリーム映像と、Flash フォーマットで提供される。

これら大容量コンテンツは、NTT-ME が提供する CDN を利用して配信される。都道府県ごとの地域 IP 網に設置されたサーバにコンテンツを収納することで、ユーザーに最寄りのサーバからのコンテンツ配信を実現し、利用が集中する時間帯のネットワーク混雑等による通信速度低下現象等を回避する。

有料コンテンツに対する課金方法については、コンテンツホルダーが「月額固定自動継続型」や「一定期間利用可能型」といった課金パターンを選択できる。また、コンテンツ配信の開始以前に視聴権を販売する「販売期間別設定型」についても準備中としている。

各コンテンツの著作権についてはコンテンツ流通市場「B-BAT」を運営している株式会社ビーバットの協力を得て、自動公衆送信権などの許諾を取得するなどコンテンツの保護や管理等について対応するとしている。

(11/20)

### 仏 Vivendi、米国にネット関連事業会社を設立

仏 Vivendi Universal は、米国において音楽、ゲーム、教育関連サイトを統合したネット関連事業会社「Vivendi Universal Net USA Group」を設立すると発表した。

新会社はロサンゼルスを本拠とし、CEO には、MP3.com の Robin D. Richards 会長兼 CEO が就任する。

新会社が統合するのは Vivendi Universal が自社で展開したり買収してきた MP3.com、EMusic.com、GetMusic.com、RollingStone.com、Inside Sessions、Flipside、Uproar、Iwin、Virtual Vegas、

Education.com と既に発表している MP4 ビデオサイト。

新会社は、Vivendi Universal が先頃設立した MP3 Technologies と共に、レコード会社、映画会社、映画スタジオ、ゲームメーカー、教育関連などのプロモーションサイトに対してオンラインアプリケーションとインフラ技術を提供していくとしている。

(11/20)

## IEEE が、54Mbps の無線 LAN 規格「IEEE802.11g」の草案を承認

IEEE (米電気電子通信学会) の会員の 1 社でもある米 Texas Instruments (TI) は、IEEE が 2.4GHz 帯で 54Mbps のデータ通信速度を実現する無線 LAN 規格「IEEE802.11g」の草案を承認したと発表した。

IEEE802.11g は現在普及している IEEE802.11b と互換性を保ちながらデータ通信速度を引き上げることを目的に策定が進められていた次世代無線 LAN 規格。

この規格には TI と Intersil、その他数社から提案が出されていたが、最終的には 2 つの異なる要素を組み合わせたものとなった。変調方式は最大 24Mbps のデータ通信速度に対応する PBCC-22 と CCK-OFDM に加え、オプションとして最大 54Mbps のデータ通信速度に対応する OFDM も採用された。

TI では、同社の提案していた PBCC-22 が IEEE802.11g の技術の 1 つとして採用されたことを受け、2002 年中頃には IEEE802.11g 対応製品を出荷できるようにするとしている。

(11/19)

## 米 Mediafour、Windows ユーザー向け iPod クライアントソフトを開発

米 Mediafour は、アップルのデジタルオーディオプレーヤー「iPod」を Windows PC と接続できるようにするためのクライアントソフト「XPod」を開発すると発表した。

XPod は、Windows Me、98、95、NT 4.0、2000、XP 上で動作する。ただし、iPod のインターフェースである FireWire (IEEE1394) を備えている必要がある。

XPod のリリースや価格は未定。パブリックベータ版を近い内に公開できるとしている。

iPod は 5GB の PC カード HDD を搭載した携帯型プレーヤー。アップルでは MacOS 上のクライアントソフトウェア「iTune2」を用意している。

Mediafour は「MacDrive」など、Windows と Mac のためのクロスプラットフォームソフトを開発しているソフトウェアメーカー。国内ではメディアビジョンが代理店となっている。

(11/17)

## 日本 TI、MP3 対応 CD プレーヤー向け DSP ソリューションを開発

日本テキサス・インスツルメンツ (日本 TI) はハートランド・データ社と共同で、MP3 対応 CD プレーヤー向けに CD サーボ制御処理用 DSP ソリューションを開発したと発表した。

これは、TI のデジタルオーディオ向け DSP ソリューション「TMS320DA150」に、ハートランド・データ社の CD サーボ制御処理用ファームウェアを統合したものだ。

このソリューションを採用することで、MP3 だけでなく、WMA、AAC、CD-DA などのオーディオ・コーデックに対応したポータブル CD プレーヤー、ミニコンボおよびカーオーディオなどの CD プレーヤーを実現できる。

現在市場に投入されている MP3 対応 CD プレーヤーの多くは、圧縮オーディオのコーデックを DSP で行い、CD の回転、レーザのフォーカス、データのトラッキングを制御するサーボ処理をそれぞれマイコンで制御している。

今回のソリューションでは、ハートランド・データ社の開発したファームウェアを統合したことにより、「TMS320DA150」でオー

ディオ・デコーディング機能とサーボ制御処理機能をワンチップ化した。

これにより、メーカーはプレーヤー 1 台につきコストを 2 ドルから 3 ドル程度の削減を見込める。また、部品点数の削減によりボードの占有面積を縮小、低消費電力の「TMS320DA150」によりバッテリーの寿命を延長といったメリットもある。

このソリューションのその他の特長は以下の通り。

- ・ 楽曲の検索時間を短縮  
ハートランド・データ社のファイル情報ソフトのミドルウェアにより、楽曲の検索時間を大幅に短縮
- ・ UDF、ISO9660、HFS などのファイルシステムに準拠し、ほぼすべての CD ライティングソフトに対応可能
- ・ 文字情報の表示  
CD-TEXT、ID3 タグ情報に対応
- ・ MP3 対応 CD プレーヤーの本体およびリモコンの液晶ディスプレイにアーティスト名、楽曲のタイトル、歌詞などを表示可能
- ・ 各社の CD デコーダ IC に対応  
「TMS320DA150」に統合された CD サーボ制御処理用ファームウェアは、各社の CD デコーダ IC に対して柔軟に適用。

(11/17)

## 有線ブロード、10 月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2001 年 10 月末時点の進捗状況と今後の展開予定を発表した。

これによると、Web でサービスの申込みを行なった登録数が 47,709 件、工事日が確定している契約者数が 7,706 件、回線が開通している取り付け数が 2,965 件となっている。

9 月末時点での数字と比べると、登録数で約 7,000 件、契約者数で約 700 件、取り付け数で約 560 件の増加となっており、取り付け数と契約者数の増加数が近づいているものの登録者数の増加には追いついていない状態が続いている。

ただし、10月には展開エリアが14から26に増え、ユーザーカバー数も約220,000と大幅に増やしている。

(11/17)

## IEEE802.11a の認定ロゴ名称は「Wi-Fi5」

WECA (The Wireless Ethernet Compatibility Alliance) は、5GHz帯を利用する無線LAN規格「IEEE802.11a」に準拠する製品に対する認定ロゴとして「Wi-Fi5」という名称を発表した。

WECAは無線LANの標準化を進める業界団体。無線LAN製品の相互接続性試験を実施し、合格した製品に認証を与えている。

これまでは2.4GHz帯を利用したデータ通信速度最大11Mbpsの無線LAN規格「IEEE802.11b」について相互接続性を保証する「Wi-Fi」という認定ロゴを発行していた。

既に世界各国のメーカー120社以上が参加し、200以上の製品がWi-Fiのロゴを受けている。

IEEE802.11aは5GHz帯を利用してデータ通信速度最大54Mbpsを実現する無線LAN規格。今回の認定ロゴにより、ユーザーは相互接続性を保証された製品を安心して購入することができるようになり、普及に弾みがつくものと期待される。

(11/16)

## マイクロソフトとオリコンGE、CD楽曲データ提供サービスで提携

マイクロソフトとオリコン・グローバルエンタテインメント(オリコンGE)は、国内で発売された音楽CDの関連データ、およびDVD関連データ提供サービスに関する提携に合意したと発表した。

今回の提携により、日本国内で発売された洋楽、邦楽、童謡、学芸(三味線、落語)、クラシックなど全ての分野に渡る20万タイトル以上のCD楽曲データがインターネット経由で楽曲データを無償で取得できるようになる。

このサービスは、Windows XPのみに対応の「WMP for Windows XP」に加えて、Windows 98・2000・Meに対応の「WMP 7.0」以上のユーザー向けに提供される。

また、今後発売となる、最新の楽曲に関しては、随時オリコンGEからマイクロソフトに提供されていく予定。

さらに、今後の提携予定サービスとしては、(1)パソコンにDVD再生ドライバーを実装されている場合のDVDタイトルデータの提供、(2)CDアーティスト名および楽曲名に加えて、ディスコグラフィ、アーティストプロフィール、オフィシャルサイトなどの関連サイトへのナビゲーション情報提供サービスなどCD楽曲サービス内容の拡大などが予定されている。

(11/16)

## Liquid Audio、EMI CMG の会員制音楽配信サービスを開発

Liquid Audioは、世界で最も大きいキリスト教系音楽レーベルEMI CMGが同社の会員制音楽配信サービスの構築にLiquid Audioの音楽配信技術を採用すると発表した。

EMI CMGの会員制音楽配信サービスは、ユーザーがいつでも各楽曲をダウンロードし、CD-Rに焼いたり携帯型プレーヤーに転送したりすることができる。メジャーレベルとしては初めてのサービスとなる。

キリスト教系音楽のファンは、Steven Curtis Chapman、Avalon、dc Talk、Audio Adrenaline、Bishop T.D. Jakes、Jump 5、Rebecca St. James、Stacie Orrica、Zoe Girl、Delirious、Newsboys、the Tri-City Singers、O.C. Supertones、Cadet、Ill Harmonicsといった多くの有名アーティストの楽曲にアクセスすることができる。

また、EMIではジャンル別会員制音楽配信サービスのインフラ技術プロバイダーとしてLiquid Audioを採用する。EMI CMGのサービスはEMIが今後展開する他のジャンルの会員制音楽配信サービスの第一歩と位置付けている。

(11/15)

## 米 Listen.com、会員制音楽配信サービス「Rhapsody」向けに Harry Fox Agency とライセンス契約を締結

米 Listen.com は、同社の会員制音楽配信サービス「Rhapsody」向けに米音楽出版協会(NMPA)のライセンス組織である米 Harry Fox Agency(HFA)とライセンス契約を結んだと発表した。

今回の契約は、NMPAとHFAが2001年10月に、米レコード協会(RIAA)と合意した会員制オンライン音楽配信サービスにおける、楽曲のオンデマンドストリーミングおよび制限付きダウンロードについての契約条項をモデル化したもの。

この契約に基づき、Listen.comは、HFAにライセンスを委託している27,000社以上の音楽出版社が管理する160,000人以上のアーティストの全音楽作品を「Rhapsody」で提供することが可能となる。

オンデマンドストリーミング配信の著作権使用料は米著作権庁がその料率を決定次第、遡って支払われる。それまでの間、Listen.comはHFAに前金として最大500,000ドルを支払う。また、今後2年の間に料率が決定されない場合には、Listen.comは料率が決定するまで月額最大31,250ドルをHFAに支払う。

Listen.comの「Rhapsody」は、ストリーミングとインターネットラジオ、多くのレビューとリコメンドによって構成される唯一のサービスとして2001年12月3日にスタートする予定。

(11/15)

## HomePNA、「HomePNA 3.0」についての市場からの要件を発表

HomePNA(Home Phoneline Networking Alliance)は、データ通信速度100Mbpsを最大の特徴とする第3世代規格「HomePNA 3.0」について市場からの要求仕様を発表した。

HomePNAは、電話線を利用した家庭内ネットワークの業界団体。今回は会員メンバー133社にmarket requirements document

(MRD)を明らかにしたのも。

HomePNA 3.0は、電話回線を利用して家庭内におけるブロードバンドエンタテインメントや音声アプリケーションの利用、複数のパソコンによるファイルやインターネット共有を実現するもので、データ通信速度はHomePNA2.0の10Mbpsから一気に引き上げられ100Mbpsとなる。

データ通信速度を引き上げる一方で、Quality of Service (QoS)は維持され、ビデオオンデマンドやストリーミング、ネットワークゲームなどブロードバンドインフラを必要とする家庭向けサービスを実現する。

また、デジタルテレビ、セットトップボックス、DVR、DVDプレーヤー、MP3チューナーなどデジタル家電製品もネットワーク技術が統合され、家庭内ネットワークを必要とするようになるとしている。

HomePNA 3.0はHomePNA 1.0と2.0と下位互換性を持ち、HomePNAが同時に発表したプロトコル「Voice-over-HomePNA (VoHPNA)」もサポートする。VoHPNAはHomePNA 2.0を拡張したもので、同時に8件の高性能音声データ送信を可能にする。

この後、HomePNA 3.0はHomePNAの技術委員会が提案を検討した後に2002年第4四半期に仕様の最終版として発表される予定。

(11/15)

## NTT 東西、施設設置負担金ゼロの「加入電話・ライト(仮称)」を発表

NTT 東日本および西日本は、加入電話について、新規契約時の施設設置負担金の支払いを必要とせず、月々の基本料に一定額を加算した新サービス「加入電話・ライト(仮称)」の提供について、総務大臣に契約約款の認可申請と料金の届出を行ったと発表した。

これまで、加入電話の新規契約時には施設設置負担金として72,000円、契約料800円が必要となっていた。「加入電話・ライト(仮称)」では契約料の800円と工事料2,000円のみとなり、月額基本料に640円が加算される。

同様のサービスにはISDN回線を対象にした「INSネット64・ライト」があるが、ADSLの需要拡大によりアナログ回線でのサービスが求められていた。

なお、臨時加入電話との整合性から、基本契約期間(1ヶ月)を設定し、利用期間が1ヶ月以内であっても、1ヶ月分の基本料が請求される。

サービス提供開始予定時期については、総務大臣の認可を得た後、2002年2月よりサービスを提供するとしている。

(11/15)

## ソニー、AOL Time Warner とオープンブロードバンドネットワーク環境の構築に向け協力

米ソニーとAOL Time Warnerは、オンライン・エンタテインメントなどの家庭配信に向け、新たなオープンブロードバンドネットワーク環境の構築のために戦略的に協力していくことで基本合意したと発表した。

両社は、利便性に優れ、ユーザーが手軽にコンテンツやサービスを利用できるホームネットワーク関連技術を共同で開発していく。具体的には以下の3点を挙げていく。

- 1.ブロードバンドホームネットワークゲートウェイ機器関連技術の共同開発
- 2.ネットワーク対応AV機器に適したインターネットブラウザの共同開発
- 3.米国におけるソニーのネットワーク対応AV機器にAOLがアクセスサービスを提供することの可能性を検討

技術に関してはいずれも成果をオープンにすることとし、ソニー製品だけでなく他企業の製品でも利用できるようにすることを想定している。

(11/14)

## ソニー、Nokia とオープンミドルウェアプラットフォームの共同開発で基本合意

ソニーとNokiaは、携帯端末とネットワーク対応AV機器が提供するサービスプラットフォーム相互の接続を可能にするミドルウェアプラットフォームを共同開発することで基本合意したと発表した。

携帯端末とネットワーク対応AV機器相互、また各々が提供するサービスプラットフォーム相互の接続を可能にする、オープンで共通なミドルウェアプラットフォームを共同開発していく予定。

具体的には、新しいユーザーインターフェイス、コンテンツのダウンロード技術、マルチメディアメッセージング、オープンなデジタル著作権管理技術に加え、採用されたIPv6の互換性の確保などが共同開発の対象として挙げられている。

(11/14)

## MIS、センチュリーハイアット東京で『街角無線インターネット』実証実験を開始

モバイルインターネットサービス(MIS)は、センチュリーハイアット東京において、2001年11月16日より『街角無線インターネット』実証実験を開始すると発表した。

実証実験の場所はセンチュリーハイアット東京の2階ロビー、および2階ロビーフロアのコーヒーハウス「ブルーニュ」で、11月16日にオープンする1階カフェ&パブ「It's on me(イツ オン ミー)」。

期間は2001年11月16日から2002年3月を予定している。

「It's on me!」ではPC3台常設のほか、PCの貸し出しも予定している。

センチュリーハイアット東京では、これまで無線LANによるホットスポットサービスを提供していたが、認証・セキュリティ・ハンドオーバー機能に優れたMIS方式も導入するというもの。

MIS では、今後もホテルやオフィス街ならびに駅などの公共エリアにおいて、実証実験エリアの拡充をすすめていくとしている。

(11/13)

## au の次世代サービスを 12 月より全国で提供開始

KDDI および沖縄セルラーは、GPS ナビゲーション機能 (eznavigation)、動画配信機能 (ezmovie)、モバイルインターネットの世界標準規格 WAP2.0 に対応した、新たな au の携帯電話サービスを 2001 年 12 月より全国一斉に提供開始すると発表した。

新サービスの開始にあたり、GPS 衛星の高精度な位置情報を活用する GPS ナビゲーション機能対応の携帯電話は『GPS ケータイ』、また映像とステレオサウンドによる動画配信機能対応の携帯電話は『ムービーケータイ』をそれぞれのキャッチフレーズとする。

『GPS ケータイ』は「C3001H」「C3002K」の 2 タイプを、『ムービーケータイ』には「C5001T」の対応携帯電話機を 2001 年 12 月上旬より発売し、サービス開始当初から、GPS ナビゲーション機能を活用した約 20 種類のコンテンツ、動画配信機能を利用した約 60 種類のコンテンツを利用できる。

この中で、動画配信機能 (ezmovie) については、EZweb のデータ通信速度を最大 64kbps に高速化するとともに、世界標準の画像圧縮方式「MPEG4」と音声圧縮方式「MP3」「QCELP」によるファイルフォーマット「MP4」を採用することで、スムーズな動画配信を可能とし、併せて高音質のクリアなステレオサウンドを実現している。

また、テロップをクリックすればリンク先 (URL、Eメール、電話) にジャンプするハイパーリンク対応テロップ機能との組み合わせにより、ビデオコンテンツからのインタラクティブなモバイルコマースにも結びつけることができる。

利用料金については、『GPS ケータイ』『ムービーケータイ』専用の EZweb サービスコースとして「EZwebmulti」を新設、月額使用料は 300 円。64kbps の高速パケットサービスは月額 600 円だが、「EZwebmulti」とのセットで 200 円割引になる。また、2002 年

3 月末までの特別キャンペーンとして「高速パケットサービス」の月額使用料 (600 円) がセット割引により無料となる。

EZwebmulti のパケット通信料に関しては 1:00-17:00 の「お得タイム」を設定、標準 0.27 円/パケットのところ、0.2 円/パケットとなる。さらに 1 アクセス当たり 100 パケットを超える部分についてはさらに半額の 0.1 円/パケットとなる。

さらに、割引オプション「PacketOne ミドルバック/スーパーバック」を組み合わせることにより、大幅な割引が設定される。

(11/13)

## ソニックブルー、Rio600 対象の「音楽が 2 倍キャンペーン」を実施

ソニックブルーは、デジタルオーディオプレーヤー「Rio600」を対象期間に購入したユーザーに搭載メモリが 2 倍になるようバックパックを無料で進呈する「音楽が 2 倍キャンペーン」を実施すると発表した。

キャンペーン期間は、2001 年 11 月 22 日から 2002 年 1 月末日まで。対象製品は Rio600 32MB、および Rio 600 64MB。なお、Rio 600 64MB Limited Edition は対象とはならない。

期間中、Rio600 32MB 新規購入者には 32MB バックパックが、Rio600 64MB 新規購入者には 64MB バックパックが、いずれも店頭にて無料で進呈される。

進呈される 32MB および 64MB バックパックにはニッケル水素充電電池が内蔵しており、AC アダプターが付属する。

また、キャンペーン開始以前に購入した Rio600 32MB および Rio600 64MB ユーザーに対しても以下の内容でキャンペーンは実施される。

・2001 年 11 月 12 日～11 月 19 日に購入した Rio 600 32MB ユーザー：Rio ユーザーオンライン会員登録を行い、レシートおよび住所、氏名、電話番号を株式会社ソニックブルーまでファックス (03-5695-8403) 送付すると 32MB バックパックを無料で進呈。

・2001 年 11 月 19 日以前に購入した Rio 600 64MB ユーザー (Rio 600 64MB Limited Edition は対象外)：Rio ユーザーオンライン会員登録を行うと 64MB バックパックを無料で進呈。

さらに、同キャンペーン期間中、今回のキャンペーン非対象の既存ユーザー向けに、SONICblue eStore にて 32MB バックパックを特別価格 2,980 円で販売される。

なお、32MB バックパックの販売は、売り切れ次第終了となっている。

(11/12)

## 東芝と SanDisk、1Gbit の NAND 型フラッシュメモリを開発・商品化

東芝は、SanDisk と共同で世界で初めて多値技術を利用した 1Gbit NAND 型フラッシュメモリを開発、1Gbit の TSOP パッケージ品「TC58010FT」のサンプル出荷を開始したと発表した。

多値技術とは、従来、メモリセルごとに「0」か「1」のどちらかを記録する 2 値技術により 1bit のデータを保持していたが、これをメモリセルごとに「00」、「01」、「10」、「11」の 4 つの値のいずれかをとることにより 2 ビットのデータを記録することができ、回路の微細化をすることなく 2 倍の容量を実現できるフラッシュメモリの記録方式。

新製品は、0.16 ミクロンの微細加工技術を利用した 512Mbit の NAND 型フラッシュメモリに多値化技術を採用し 1Gbit の大容量化を実現した。サンプル価格は 10,000 円。量産出荷は 2002 年初めを予定している。

さらに 1Gbit NAND 型フラッシュメモリを 2 個積層し 2Gbit を実現した TSOP パッケージ品も開発、2001 年 12 月からサンプル出荷を開始する予定。こちらはサンプル価格 20,000 円、量産出荷は 2002 年第 1 四半期予定。

なお、東芝は 1999 年 7 月に SanDisk と NAND 型フラッシュメモリの共同開発につき包括的提携を結んでおり、新製品はその一環として開発された。2000 年 5 月には、両社出資の製造合弁会社フラッシュビジョン社を設立、2001 年 7 月からは同合弁会社を通じ

# EMD Magazine

Electronics Music Distribution Magazine

て、東芝の子会社である米国・ドミニオン社でも NAND 型フラッシュメモリの生産を開始している。

(11/12)

**EMD Magazine 第9号**

発行 2001年11月26日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース

>> come and check out our site . . .

<http://www.emd.gr.jp/>

EMD Magazine 第9号